

「子ども同士の育ち合い」

子ども達は様々な遊びを通して好奇心、集中力、創造力を養います。また、友だちとの関わりの中で、自分の気持ちが相手に伝わるには、どのように話したらよいかなど、考えることで、コミュニケーション能力が培われます。遊びの中で、相談したい協力して遊ぶことで、関わりが深くなり、仲間意識が育っていきます。

異年齢児の環境の中で、年少児は、遊びやルール、順番を守ること等たくさんのことを教わります。お兄さん・お姉さんの行動・姿に憧れの気持ちが芽生え、「やってみよう」という意欲が育ちます。また、年中・年長児は、年下をいたわる気持ちが芽生えます。



どうやってするの？



みんなで町
つくったよ



手伝って
あげようか？

また、同年齢の遊びの中で、自分の思いを言葉にしたり、相手の気持ちに気づいたり、時には我慢したりと様々な経験をします。このような経験を積み重ねることで、お互いの気持ちに気づき思いやる気持ちが育ちます。さらに遊びを共有する中で、アイデアを出しあったりする経験を通して、友だちの良さに気づき、一緒に遊ぶ楽しさを知っていきます。